

Dental Comm



東京歯科大学千葉病院医療連携NEWS デンタルドットコム

2006年 7月

春・夏合併号

東京歯科大学千葉病院 医療連携室 発行
TEL 043-270-3641
URL: <http://www.tdc.ac.jp/hospital/ch/>

Dental Comm

はいかがでしたでしょうか？ ドットコムのコムはコミュニケーションのコムです。
できるだけ先生方のコミュニケーションのお役に立てるよう、より内容を充実していきたいと思えます。

* 今回は、年度初めにあたり、各科担当表を創刊号に引き続き、中2、3ページに掲載致しましたのでどうぞご活用ください。

* 1ページは7月以降のイベントのご案内等をさせていただきます。

* 最終ページは放射線科のミニレクチャー2回目です。

県歯会報に当院専門外来連載！

社団法人千葉県歯科医師会 会報誌(月刊)
(デンタルレポート千葉)に、当院の専門外来の
紹介が12回にわたって、連載されることになり
ました。

これまで詳細にご説明できなかった専門外来
について、わかりやすく紹介させていただきます。
ご一読いただけますようお願いいたします。

なお、初回は、

「東京歯科大学千葉病院顎関節外来」に
ついてです。

ご不明な点等ございましたら、上記連絡先
(医療連携室)までご連絡下さい。

ガン検診

次の
口腔癌検診

習志野市歯科医師会
11月12日(日)

その他のお知らせ

(社)千葉市歯科医師会主催
「ヘルシー・カムカム2006」に当院からも参加

去る6月4日(日)に、(社)千葉市歯科医師会主催の
歯科衛生週間のキャンペーン事業「ヘルシー・カムカム」が千葉そごうで行われました。

本年は来店者の人波が多い催事場で行われ、例年
以上の市民の方が来場されました。千葉病院からは口
腔外科が「口腔癌検診」、スポーツ歯科が「マウスガー
ドの紹介」、また歯科衛生士専門学校2年生有志が来
場者の誘導に協力させて頂きました。

口腔癌検診は今回で15年目を迎え、その実績は
関連学会でも注目されております。誌上をお借り
し関係者の方々に千葉病院スタッフが「ヘル
シー・カムカム」に参加させて頂いた
御礼を申し上げます。

医療連携委員(平成18年度)

千葉病院長:石井 拓男

医療連携委員長:高野 伸夫 副委員長:井上 孝、吉峯 規雄

大塚 茂、笠原 清弘、神山 勲、杉山 利子、関口 一実、
関口 浩、武田 友孝、中川 寛一、古谷 義隆、間宮 秀樹、
三穂 乙暁、村川 孝、茂木 悦子、矢島 安朝、山口 秀晴、
米津 博文、和光 衛

五十音順 (2006年7月現在)

東京歯科大学千葉病院専門外来紹介患者担当表

専門外来	月	火	水	木	金	土	備考	
口臭外来 (3904)		角田 正健 増田 浩之 山田 考 木瀬 宏明 嶺 恵里	杉山 利子 亀山 敦史 富田 幸代 土屋 通 渡邊 直子		角田 正健 亀山 敦史 富田 幸代 土屋 通 渡邊 直子		診療日は毎週火曜日、 木曜日の9:30～、 11:00～となっております。	
顎変形症外来 (3903)	[矯正歯科] 山口 秀晴 野嶋 邦彦 (午前中のみ)	[矯正歯科] 茂木 悦子 野嶋 邦彦 (午前中のみ)	[矯正歯科] 山口 秀晴 坂本 輝雄 (午前中のみ)	[矯正歯科] 茂木 悦子 西井 康 (午前中のみ)	[矯正歯科] 坂本 輝雄 野村 真弓 (午前中のみ)	[矯正歯科] 第1土曜日 茂木 悦子 野嶋 邦彦 第3土曜日 茂木 悦子 坂本 輝雄 第4土曜日 西井 康 第5土曜日 西井 康		
	[口腔外科] 高野 伸夫、柴原 孝彦、内山 健志、高木 多加志、片倉 朗、須賀 賢一郎、笠原 清弘、野村 武史、幾本 英之 * 口腔外科の顎変形症外来の初診・再診は随時行っております。							
リラックス治療外来 (3902)	櫻井 学 間宮 秀樹 松浦 信幸	櫻井 学 間宮 秀樹 松浦 信幸	一戸 達也 間宮 秀樹 松木 由起子	松木 由起子	櫻井 学 松浦 信幸	各歯科医師交代制		
慢性的痛み・しびれ外来 (ペインクリニック) (3902)	半田 俊之 松浦 信幸	間宮 秀樹 松浦 信幸	一戸 達也 間宮 秀樹 松木 由起子	松木 由起子 半田 俊之	半田 俊之 松浦 信幸	各歯科医師交代制		
障害者歯科外来Ⅰ (歯科麻酔科・3902)	櫻井 学 間宮 秀樹 松浦 信幸	櫻井 学 間宮 秀樹 松浦 信幸	一戸 達也 間宮 秀樹 松木 由起子	松木 由起子	櫻井 学 松浦 信幸	各歯科医師交代制		
障害者歯科外来Ⅱ (小児歯科・3906)	関口 浩 米津 卓郎 (午前中のみ)	関口 浩 米津 卓郎 (午前中のみ)	米津 卓郎 (午前中のみ)	関口 浩 米津 卓郎 (午前中のみ)	関口 浩 (午前中のみ)		急患の場合は、午後も 対応いたします。	
口腔腫瘍外来 (3901)	高野 伸夫、柴原 孝彦、片倉 朗、須賀 賢一郎、笠原 清弘、西堀 陽平、幾本 英之、野村 武史、浜瀬 真紀 * 初診は随時行っておりますが、定期観察のみ、毎週月曜日(13:30～16:00)となっております。							
唇顎口蓋裂外来 (3901)	[小児歯科] 関口 浩 今井 裕樹 (午前中のみ)	[小児歯科] 関口 浩 (午前中のみ)	[小児歯科] 今井 裕樹 (午前中のみ)	[小児歯科] 関口 浩 今井 裕樹 (午前中のみ)	[小児歯科] 関口 浩 今井 裕樹 (午前中のみ)	[小児歯科] 関口 浩 今井 裕樹	急患の場合は、午後も 対応いたします。	
	[矯正歯科] 山口 秀晴 野嶋 邦彦 (午前中のみ)	[矯正歯科] 茂木 悦子 野嶋 邦彦 (午前中のみ)	[矯正歯科] 山口 秀晴 坂本 輝雄 (午前中のみ)	[矯正歯科] 茂木 悦子 西井 康 (午前中のみ)	[矯正歯科] 坂本 輝雄 野村 真弓 (午前中のみ)	[矯正歯科] 第1土曜日 茂木 悦子 野嶋 邦彦 第3土曜日 茂木 悦子 坂本 輝雄 第4土曜日 西井 康 第5土曜日 西井 康		
ドライマウス外来 (3920)		井上 孝		井上 孝 松坂 賢一				
味覚異常外来 (3920)	井上 孝 田崎 雅和 (午後のみ)	井上 孝 田崎 雅和 (午後のみ)		井上 孝 田崎 雅和 (午後のみ)				
歯科金属アレルギー外来 (3920)	松坂 賢一	井上 孝						
セカンドオピニオン外来 (3830)	保存科(中川 寛一、平井 義人、高瀬 保晶、関口 一実)、口腔外科(柴原 孝彦、内山 健志、片倉 朗、須賀 賢一郎)、補綴科(杉山 哲也)、矯正歯科(山口 秀晴)、 小児歯科(関口 浩、米津 卓郎)、スポーツ歯科(石上 恵一、武田 友孝)、総合診療科(角田 正健、杉山 利子、高橋 俊之)、口腔インプラント科(矢島 安朝)、 歯科麻酔科(一戸 達也、櫻井 学)、放射線科(佐野 司、和光 衛)、臨床検査部(井上 孝、松坂 賢一) * 予約制となっております。事前を受診申込をして頂き、予約日を決定。相談内容に応じて各専門医が担当いたします。							
顎関節外来 (3901)	[口腔外科] 米津 博文 * 診療時間は 13:30～16:00 です。		[口腔外科] 米津 博文 * 診療時間は 13:30～16:00 です。		[口腔外科] 米津 博文 * 診療時間は 13:30～16:00 です。			

- ※1) 各専門外来受付へ直接かける際は、「043-270-****(専門外来の下4ケタ)」をダイヤルして下さい。
- 2) 各専門外来とも、事前にご予約のお電話をお願いいたします。
- 3) 講義、手術、出張等で担当医が不在の場合がございます。その際は代理の担当医が診療を行いますので、ご了承下さい。
- 4) 通常の診療時間: 午前は9:30～12:30、午後は13:30～17:30となっております(土曜日は午前中からのみの診療、第2土曜日は休診日です)。
- 5) 担当表には、原則、助手以上の医局員を記載しております。
- 6) 各歯科医師交代制と記載されている診療科宛に紹介状を送付する場合は、宛先を「診療科 御中」とし、ご送付下さい。

リレーミニレクチャー

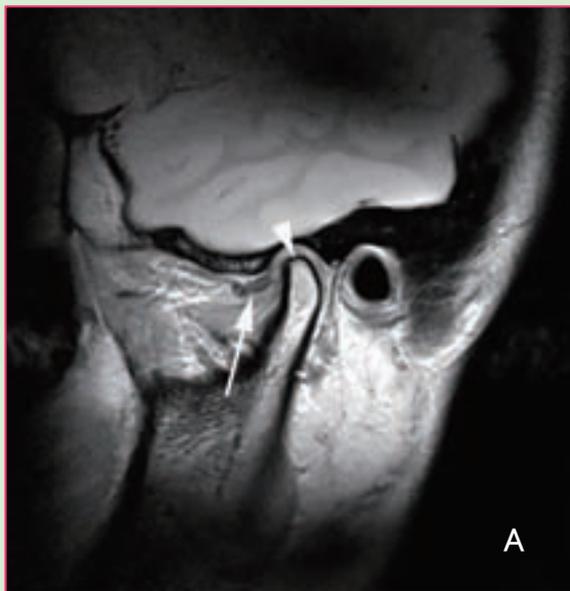
放射線科画像診断 その②顎関節症のMRI診断

放射線科教授 佐野 司

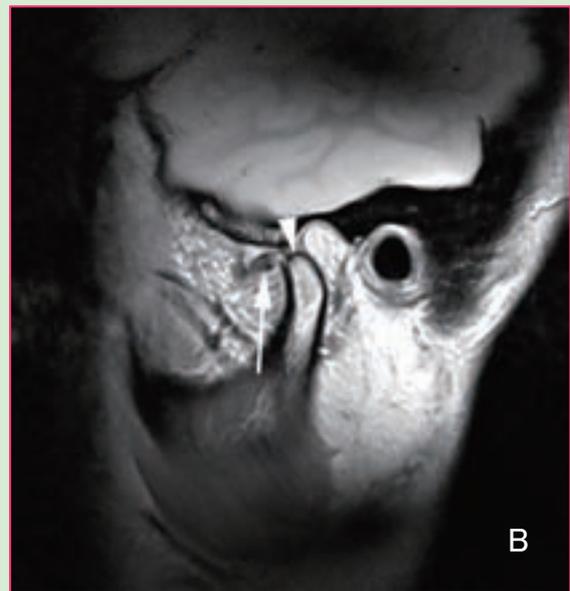
顎関節部に生じる疾患のほとんどが顎関節症である。周知のように顎関節症は、顎関節や咀嚼筋の疼痛、関節雑音、開口障害ないし顎運動異常を主要症候とする慢性疾患群の総括的診断名である。顎関節症患者では、関節円板転位が高頻度に見られる。MRIが臨床応用され関節円板のみならず、関連の軟組織およびjoint effusionの検出も可能となった。

関節円板転位

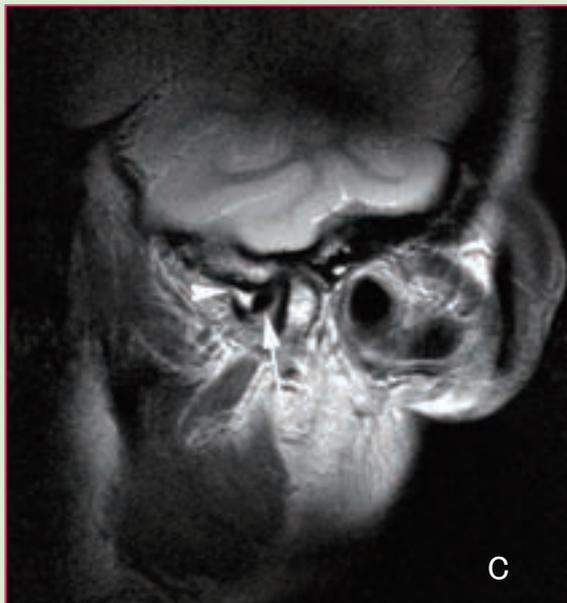
円板の診断には、プロトン密度強調像が優れている(図)。顎関節症で高頻度に認められる円板転位方向は、前方であり、特に前外方が最も多い。閉口時では、円板の転位の有無および方向を、また開口時では復位の有無を診断する。開口時に下顎頭と関節結節の間に円板が存在するとき、復位を伴う円板転位、あるいは復位性円板転位と診断される。開口時に関節円板が正常の位置関係とならないものは、復位を伴わない円板転位、あるいは非復位性円板転位と診断される(図)。臨床的に開口障害を呈する状態では、通常、非復位性円板転位を示す(図)。



図A: 開口障害を伴った症例の顎関節MRI所見
閉口時のプロトン密度強調像(矢状断)で下顎(矢頭)の前方に転位した関節円板(矢印)が明瞭にされている。



図B: 開口時のプロトン密度強調像(矢状断)で円板(矢印)は下顎頭(矢頭)の前方に位置し、転位をしたままの状態では復位を伴っていない。非復位性円板転位と診断される。



Joint effusion

関節液(joint fluid)の異常集積が認められ(水成分の検出に用いられるT2強調像で均一な高信号所見)、これを他の関節同様、joint effusionと呼ぶ(図)。joint effusionは顎関節痛と関連するとされる。

図C: 閉口時のT2強調像(矢状断)において円板(矢印)の上方の上関節腔にjoint effusion(矢頭)が存在する。



当科設置のMRI装置